

【ご注文承ります】

漢代文字編

(全6冊)

徐正考, 肖攀編著 / 作家出版社

2016年12月 / 税込123,120円 (423485)

本書は、《兩漢出土文献文字研究》の一つ。文字が書写、銘記された各種の漢代遺物から9種の字形を選録し、「一般銅器」「銅印」「銅鏡」「錢幣」「簡帛」「碑刻」「陶文」「漆器」「封泥」の順で親字の下に掲載。各種の出土品から採取した字形を集録した初めての漢代文字編である。

親字は『説文解字』の収録順に排列される。各部首内は、まず『説文解字』に収録された文字が、その順序に倣って整理され、『説文解字』以降の字典に見出すことの出来る文字を次に、さらにどの字典にも見られず「隸書体」と判断された文字を最後に収録する。

巻末には「器名、番号及出处索引表」「参考文献」、さらに筆面漢字索引、ピンイン漢字索引を付す。



ご注文・お問合わせ

*価格は消費税8%込みで表示しております

【ご注文承ります】

岳麓書院藏秦簡 (壹—參) 文字編

陳松長, 劉欣欣, 李洪財

上海辞書出版社 / 2017年7月 / 税込 14,040円 (429147)

本書は、既刊の『岳麓書院藏秦簡』第1巻から第3巻に収録された秦簡に見出すことのできる簡牘文字について取り上げ、整理、解説を加えるもの。本書は文字篇の上編にあたり、下編は、『岳麓書院藏秦簡』の後半3巻の刊行後に編纂・刊行される。

【東方書店刊行案内】

竹簡学入門 楚簡冊を中心として

陳偉著 / 湯淺邦弘監訳 / 草野友子・曹方向訳
A5判 240頁 / 税込 2,592円 978-4-497-21613-7



本書は、竹簡とはどういうものか、という基礎知識から、どのように発掘・整理され、解説されてきたのかを実例を挙げて解説する。冒頭に簡潔な「用語一覧」、巻末に詳しい「用語解説」を附す。

※『楚簡冊概論』(湖北教育出版社)(緒論+9章)の緒論、第一・二・八・九章を抄訳したものです。

ご注文・お問合わせ

*価格は消費税8%込みで表示しております